

二〇〇一年度大会の概況

日本思想史学会二〇〇一年度大会は、十月二十日（土）・二十一日（日）の両日、関西大学を会場として開催された。

第一日目の研究発表の発表者と発表題目は以下のとおりである（副題省略）。

〈第一会場〉

研究発表

- 1、『日本霊異記』における「天台智者」への関心
（東北大学大学院） 富樫 進
（東北大学大学院） 西村 玲
- 2、普寂の法相批判
（日本学術振興会） 前川 健一
- 3、明恵に於ける仏教実践の展開とその基本理念
（東北大学大学院） 和田有希子
- 4、無住道暁と禪
（龍谷大学） 高山 秀嗣
- 5、浄土教思想史上における一遍の位置
（金沢大学） 清水 邦彦
- 6、中世地藏信仰史・考
（東北大学大学院） 池上 隆史
- 7、九鬼周造の「否定ノ構造」
（東北大学大学院） 池上 隆史

〈第二会場〉

研究発表

- 1、中江藤樹と熊沢蕃山との比較
（早稲田大学大学院） 閻 茁
- 2、明治初頭期の古代像と江戸の古物趣味
（日本学術振興会） 表 智之

3、吉田松陰における天皇観

(東北大学大学院) 桐原 健真

4、徳川初期の仏教的職分論についての一考察

(九州大学大学院) 三浦 雅彦

5、十七世紀前半における仏教批判と死生観

(東北大学大学院) 本村 昌文

6、『天経或問』の衝撃と幕末思想

(立命館大学) 清水 教好

7、『不亡抄』における「札楽」と「心法」

(同志社大学) 和田 充弘

〈第二会場〉

研究発表

1、「神道政治」的な「神道非宗教」論

(東京大学大学院) 薮 麗京

2、平泉澄と〈皇国史観〉

(東北大学大学院) 昆野 伸幸

3、明治啓蒙思想家とユニテリアン

(名古屋大学大学院) 山口 亜紀

4、小杉樞邸の蔵書形成と学問

(国立国会図書館) 大沼 宜規

5、福沢諭吉『時事新報』論説の真偽判定

(静岡県立大学) 平山 洋

6、竹越与三郎における植民地統治論と内地政治論

(神戸大学) 宇野田尚哉

7、格物致知と四代の学

(元・昭和薬科大学) 古田 武彦

第一日目の研究発表の終了後、総会が行なわれ、評議員会より二〇〇〇年度事業報告および決算報告がなされ、それぞれ承認された。続いて二〇〇一年度事業計画および予算案が提出され、それぞれ評議員会案通り決定された。

引き続き、関西大学一〇〇周年記念会館にて懇親会が開催された。

第二日目は、基調講演と「大坂の学藝」をテーマにシンポジウムが行なわれた。

基調講演

泊園書院の学藝

趣旨説明

報告

大坂の絵画・兼葭堂とその周辺

大坂の学藝と徂徠学

都市の学藝と在村の学藝

討論

(関西大学東西学術研究所) 長谷川雅樹

(関西大学) 井上 克人

(関西大学) 中谷 伸生

(広島大学) 中村 春作

(大阪女子大学) 山中 浩之

※会告

二〇〇二年四月一日より、学会事務局は、同志社大学文学部等井研究室から、立命館大学文学部桂島研究室に移転しました。
謹しんで、ご報告申し上げます。